

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名): ビストールE
供給者の会社名称: 株式会社 タセト
住所: 〒251-0014 神奈川県藤沢市宮前 100-1
担当部門: 品質保証グループ
電話番号: 0466-29-5636
緊急連絡先及び電話番号: 0466-29-5638 (化学品技術グループ)
推奨用途: 金属部の防錆潤滑用
使用上の制限: 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐ

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性:	引火性液体	区分3
健康有害性:	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:気体)	分類できない
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入:粉じん及びミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	生殖毒性・授乳に対する 又は授乳を介した影響	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	区分1
環境有害性:	水生環境有害性 短期 (急性)	区分3
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分3
	オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又は
シンボル:注意喚起語:
危険有害性情報:

危険

H226 引火性液体及び蒸気
H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
H315 皮膚刺激
H403 水生生物に有害
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き:
【安全対策】

P201 使用前に取扱説明書(カタログ等)を入手すること。
P202 全ての安全注意(本SDS等)を読み理解するまで取り扱わないこと。
P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P233 容器を密閉しておくこと。
P240 容器を接地しアースをとること。
P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。
P242 火花を発生させない工具を使用すること。
P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
P260 ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

- P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
 P273 必要などき以外は、環境への放出を避けること。
 P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【応急措置】

- P301+P310+P331 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
 P302+ P352 皮膚に付着した場合：多量の水／石鹼で洗うこと。
 P303+P361+ P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
 皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
 P332+ P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 P304+ P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 P314 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
 P370+P378 火災の場合：消火するために有効な消火剤を使用すること。

【保管】

- P102 子供の手の届かないところに置くこと。
 P403+ P233 容器を密閉して、涼しく換気の良い場所で保管すること。

【廃棄】

- P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って産業廃棄物として処理すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

成分及び含有量：

化学名（一般名）	濃度（wt%）	CAS No.	官報公示整理番号（化審法）
脂肪族系溶剤	60～70	非公開	非公開
石油系炭化水素（鉱油）	20～30 (1～10)	非公開	非公開
防錆添加物	5～10	非公開	非公開
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	<1	非公開	非公開

危険有害成分：

労働安全衛生法 57条の2の通知対象物質

化学名	CAS No.
鉱油	非公開
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	非公開

4. 応急措置

- 吸入した場合： 被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合： 汚染された衣類を脱ぐこと。
 皮膚を速やかに洗浄すること。
 多量の水と石鹼で洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。
 脱いだ衣類を再使用する前に洗濯し汚染除去すること。
- 眼に入った場合： 水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合は、医師の診察、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。
 無理に吐かせないこと。
 医師の診察、手当てを受けること。
- 急性症状及び遅発性症状
 の最も重要な徴候症状： 飲み込むと、下痢、嘔吐する可能性がある。
 目に入ると炎症を起こす可能性がある。
 皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。
 ミストを吸入すると気分が悪くなる可能性がある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤:	粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、霧状の強化液など。
使ってはならない消火剤:	棒状注水
火災時の特有の危険有害性:	火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
特有の消火方法:	火元への燃焼源を断つ。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 初期の火災の際には、粉末消火薬剤、二酸化炭素消火器を用いる。 大規模火災の際には、泡消火薬剤を用いて空気を遮断することが有効である。注水は火災を拡大して危険な場合がある。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:	消火作業は風上から行き、必ず保護具を着用する。適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置:	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 漏洩区域には、無関係者及び保護具未着用者の出入りを禁止する。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
環境に対する注意事項:	河川・下水道等に排出されないよう注意する。
封じ込め、浄化の方法及び機材:	危険でなければ漏れを止める。 少量の場合、土砂、ウエス等で吸着させて回収し、その後を完全にウエス等で拭き取る。 大量の場合は、漏洩した液は土砂等でその流れを止め、安全な場所に導いた後、できるだけ空容器等に回収する。 海上の場合、オイルフェンスを展開して拡散を防止し、吸収マット等で吸い取る。薬剤を用いる場合には国土交通省令・環境省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。
二次災害の防止策:	環境規則に従って汚染された物体及び場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策:	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 指定数量以上の量を取り扱う場合には、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行う。 熱、火花、炎、高温体等との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発散させないこと。禁煙。
局所排気・全体換気:	「8. ばく露防止及び保護措置」を参照。
安全取扱注意事項:	静電気放電に対する予防措置（導電性を有する作業衣や靴等の装着等）を講ずる。
接触回避:	「10. 安定性及び反応性」を参照
衛生対策:	取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保管 安全な保管条件:	直射日光を避け、換気の良い場所に保管する。 危険物に該当する場合、危険物の表示をして保管する。 熱、スパーク、火災ならびに静電気蓄積を避ける。 ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸性物質との接触ならびに同一場所での保管を避ける。
安全な容器包装材料:	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:	設定されていない
濃度基準値設定物質:	10 mg/m ² (8時間) 2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール
許容濃度(ばく露限界値)	
日本産業衛生学会(2023年版):	3 mg/m ³ 鉱油ミスト
ACGIH(2023年版):	TLV-TWA 5 mg/m ³ (I) ミネラルオイル(鉱油)
	TLV-TWA 2 mg/m ³ (FV) 2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール
設備対策:	ミスト・蒸気が発生する場合は発生源の密閉化、又は排気装置を設ける。 取扱場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。 空気中の濃度を推奨された許容濃度(ばく露限度)以下に保つために、排気用の換気を行うこと。
保護具 呼吸用保護具:	適切な呼吸器保護具を着用する。防じん機能付き有機ガス用防毒マスク、必要に応じて送気マスク、空気呼吸器等を着用すること。
手の保護具:	適切な保護手袋(不浸透性保護手袋)を着用すること。

眼、顔面の保護具:	「厚生労働省HP 透過試験データ一覧表」参照 飛沫が飛ぶ場合には、適切な眼の保護具を着用する。 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)。
皮膚及び身体の保護具:	保護長靴、耐油性(不浸透性・静電気防止対策用)前掛け、防護服(静電気防止対策用)等の保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態、形状、色など:	淡黄色液体
臭い:	石油系溶剤臭
融点/凝固点:	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲:	データなし
可燃性:	可燃性液体
爆発下限界及び爆発上限界 /可燃限界:	データなし
引火点:	63°C (PMCC)
自然発火点:	データなし
分解温度:	データなし
pH:	データなし
動粘性率:	<4.0 mm ² /s (40°C)
溶解度:	不溶
n-オクタノール/水分配係数(log値):	データなし
蒸気圧:	データなし
密度及び/又は相対密度:	0.81 g/cm ³ (15°C)
相対ガス密度(空気 = 1):	データなし
粒子特性:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	通常取扱条件においては安定。
化学的安定性:	通常取扱条件においては安定。
危険有害反応可能性:	蒸気は空気と爆発性混合物を形成する事がある。
避けるべき条件:	強酸化剤との接触を避ける。
混触危険物質:	強酸化剤との接触すると反応する可能性がある。
危険有害な分解生成物:	燃焼により、一酸化炭素等が発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性(経口):	急性毒性推定値(ATEmix) >2,000 mg/kgのため、区分に該当しないとした。
急性毒性(経皮):	毒性が未知の成分が含まれているため、分類できないとした。
急性毒性(吸入:気体):	有用な情報がなく分類できない。
急性毒性(吸入:蒸気):	急性毒性推定値(ATEmix) >20 mg/L(4h) 毒性が未知の成分が含まれているため、分類できないとした。
急性毒性(吸入:粉じん及びミスト):	有用な情報がなく分類できない。
皮膚腐食性/刺激性:	脂肪族系溶剤: 区分2 区分2に分類される成分が10%以上含まれているため、区分2とした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	蒸気は、眼、呼吸器系及び皮膚に刺激を与える可能性がある。 毒性が未知の成分が含まれているため、分類できないとした。
呼吸器感受性:	有用な情報がなく分類できない。
皮膚感受性:	有用な情報がなく分類できない。
生殖細胞変異原性:	有用な情報がなく分類できない。
発がん性:	有用な情報がなく分類できない。
生殖毒性:	有用な情報がなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	有用な情報がなく分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	有用な情報がなく分類できない。
誤えん有害性:	脂肪族系溶剤: 区分1 区分1に分類される成分が10%以上含まれているため、区分1とした。

12. 環境影響情報

生態毒性:	水生環境有害性 短期 (急性)	脂肪族系溶剤: 区分3 【加算法】((毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3)により、全成分の合計が濃度限界(25%)以上のため、区分3とした。
	水生環境有害性 長期 (慢性)	脂肪族系溶剤: 区分3 【加算法】((毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3)により、全成分の合計が濃度限界(25%)以上のため、区分3とした。
残留性・分解性:	データなし	
生体蓄積性:	データなし	
土壌中の移動性:	データなし	
オゾン層への有害性:	有用な情報がなく分類できない。	

13. 廃棄上の注意

- 化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報:
- ・ 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。
 - ・ 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
 - ・ 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
 - ・ 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 - ・ 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上輸送:	IMOの規制に従う。
航空輸送:	ICAO/IATAの規制に従う。
UN No.(国連番号):	1993
Proper Shipping Name(品名):	Flammable Liquids, n.o.s. (その他の引火性液体)
Class(国連分類):	3
Packing Group(容器等級):	Ⅲ
輸送又は輸送手段に関する 特別の安全対策:	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬する。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上積みしない。
国内規制がある場合の規制情報:	
陸上輸送:	消防法等、該当法に定められた運送方法に従う。
海上輸送:	船舶安全法等、該当法に定められた運送方法に従う。
航空輸送:	航空法等、該当法に定められた運送方法に従う。
緊急時応急措置指針番号:	128 引火性液体(水不溶)

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険有害物

化学名	CAS No.
鉱油	非公開
2,6-ジ-ターシャリー-ブチル-4-クレゾール	非公開

がん原性物質:	該当せず
濃度基準値設定物質:	2,6-ジ-ターシャリー-ブチル-4-クレゾール
皮膚等障害化学物質:	該当せず
危険物:	引火性の物(施行令 別表第1)
有機溶剤中毒予防規則:	非該当
特定化学物質障害予防規則:	非該当
消防法:	危険物 第4類 第二石油類(非水溶性) 危険等級Ⅲ
毒物及び劇物取締法:	非該当

化学物質排出把握管理促進法： (PRTR法)	非該当
船舶安全法：	引火性液体類 (危険物船舶運送及び貯蔵規則 第3条 告示別表第1)
航空法：	引火性液体 (航空法施行規則 第194条 告示別表第1)
海洋汚染防止法：	危険物 油分排出規制
水質汚濁防止法：	油分排出規制

16. その他の情報

参考文献等：

- 1) 独立行政法人 製品評価技術機構(NITE) GHS分類結果
- 2) JIS Z 7252:2019「GHSに基づく化学品の分類方法」
- 3) JIS Z 7253:2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
- 4) 許容濃度の勧告(2023)、日本産業衛生学会
- 5) Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices, ACGIH(2023)
- 6) 株タセト 社内資料(原材料SDS)
- 7) 本データシートの最新版は、下記のホームページにてご確認ください。
<株式会社タセトホームページ//<https://www.taseto.com>>

記載内容の取扱い

本データシートは、製品の安全性に関する要求事項を記載しています。

本データシートは、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、作成時点で当社の有する情報を取扱事業者に提供するものです。取扱事業者は、この情報に基づいて、自らの責任において、適切な処置を講ずることが必要です。

従って、本データシートは、製品の安全を保障するものではなく、本データシートには記載されていない、当社が知見を有さない危険性及び有害性のある可能性があります。